

1

基礎編

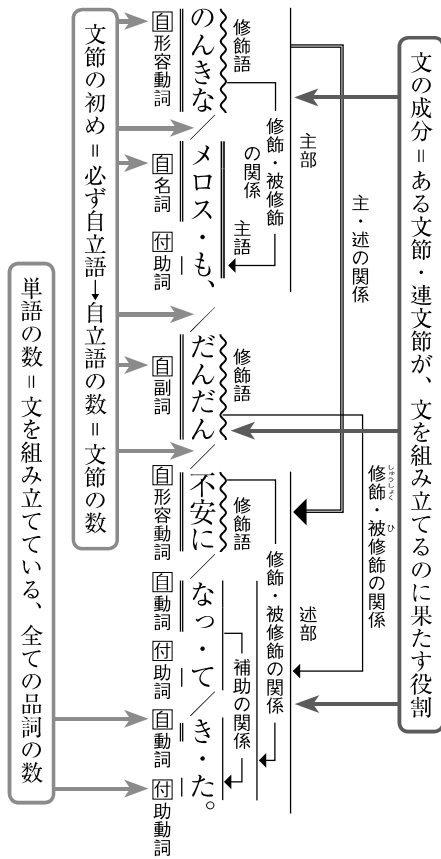
文法問題の理解のために

文法問題の考え方

入試で出題される文法問題は、中学校で学習する文法の知識を複合的に用いて考える必要がある。入試では、以下のような観点で出題されることが多い。

- ☆それぞれの単語が、どの品詞で、どのように用いられているか。
- ☆それぞれの文節が、どのような文の成分として働いているか。
- ☆どのような品詞が、どのような文の成分となるか。

次の図を見ながら単語や文節、文の成分について確認しよう。



この図から、単語・文節などの言葉の単位について理解すること、文の成分について理解すること、品詞について理解することが、互いに切り離せない関係にあり、入試の文法問題に取り組みには複合的な知識が必要だとわかるだろう。

1 言葉の単位と品詞の関係

文章を構成する言葉は、単位の大きいものから「文章・談話」→「段落」→「文」→「文節」→「単語」の段階で分けることができる。入試では、ある文における単語・文節の数や性質・働きについて問われることが多い。

(1) 言葉の単位について確認する

確認問題

1 言葉の単位について説明した次の各文の [] に当てはまる語句を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 文章を構成する言葉の単位は、大きいものから順に、文章・談話→①
- ↓② ↓文節 ↓単語 に分けることができる。
- 文節の初めは必ず③になる。
- 一文節に含まれる④の数は一つであるのに対し、④は複数個含まれることもある。

⑤は、言葉としてそれ以上分けられない最小の単位である。
⑤の数は、その文に含まれる⑥の数と同じである。

- ア 文節 イ 単語 ウ 文 エ 段落
オ 品詞 カ 自立語 キ 付属語

- [] ① [] ② [] ③ []
[] ④ [] ⑤ [] ⑥ []

2 自立語の品詞について、それぞれの主な働きを説明した次の各文の [] に当てはまる文の成分を書きなさい。

(1) 名詞は、「が・は・も」などの助詞をともなって [] となる。

(2) 動詞・形容詞・形容動詞は、単独または付属語をともなって [] となる。

(3) 接続詞は [] となり、感動詞は [] となる。

(4) 副詞は主に [] となり、連体詞は [] だけになる。

☆文節＝言葉を、発音や意味のうえで不自然にならないようにできるだけ短く区切ったまとまり。

☆単語＝言葉の意味を壊さず、それだけで使える言葉としての最小単位。

名詞・動詞・助動詞などの、品詞に分類できる単位である。

(2) 品詞に着目して、単語・文節の単位で文を分解する

単語は、働きによって、以下の十品詞に分けられる。

☆品詞＝自立語 名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・動詞・形容詞・

形容動詞

付属語 助詞・助動詞

↓品詞に分類できる単位＝単語 なので、品詞の数＝単語の数 である。

また、自立語は単独で文節を作ることができ、必ず文節の初めにくること、付属語は必ず自立語とともに文節を作るものであることを押さえる。

☆文節の数＝自立語の数＝一文節に自立語は一つ・必ず文の初め

2 文の成分

(1) 文節を文の成分として扱う

☆文の成分＝ある文節が、文を組み立てる部分となるときに果たす役割。

主語・述語・修飾語・接続語・独立語 に分けられる。

☆連文節＝二つ以上の文節がまとまって、主語・述語・修飾語などと同じ

働きをするもの。連文節としての文の成分を、主部・述部・修飾部・接

続部・独立部という。

(2) 文の成分と品詞の関係

☆名詞＝助詞をともなつて主語となる。 ☆副詞＝主に連用修飾語となる。

☆連体詞＝連体修飾語だけになる。 ☆接続詞＝接続語になる。

☆感動詞＝独立語になる。

☆動詞＝単独または付属語をともなつて述語となる。

☆形容詞・形容動詞＝単独または付属語をともなつて述語となる。

※付属語は、意味を添える(働きを決める)働きをする。

これらを踏まえ、本書では、複合的な文法の知識の習得を目ざしていく。

3 次の文章について、後の各問いに答えなさい。

メロスには竹馬の友があった。セリヌンティウスである。今はこのシラクスの町で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。

(大宰治「走れメロス」より)

(1) この文章は、いくつの文から成っているか。算用数字で答えなさい。

〔 〕

(2) 「今はこのシラクスの町で、石工をしている。」は、いくつの単語から成っているか。・で単語に区切り、その数を算用数字で答えなさい。

今はこのシラクスの町で、

石工をしている。

・単語の数：〔 〕

〔 〕

(3) 「久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。」について、後の各問いに答えなさい。

久しく会わなかったのだから、

訪ねていくのが楽しみである。

① ・で単語に区切りなさい。

② 自立語を全て〔 〕で囲みなさい。

③ /で文節に区切りなさい。

④ この文は、いくつの単語から成っているか。また、いくつの文節から成っているか。それぞれ算用数字で答えなさい。

・単語：〔 〕

〔 〕

・文節：〔 〕

〔 〕